

令和5年度松戸市当初予算の概要

(単位：千円、%)

会計名	令和5年度	令和4年度	比較	伸長率	
一般会計	169,385,765	174,290,000	△ 4,904,235	△ 2.8	
特別会計	国民健康保険	44,690,150	43,406,776	1,283,374	3.0
	松戸競輪	28,090,500	26,367,520	1,722,980	6.5
	公設地方卸売市場事業	98,074	95,703	2,371	2.5
	駐車場事業	161,002	155,002	6,000	3.9
	介護保険	41,044,587	39,557,224	1,487,363	3.8
	後期高齢者医療	7,316,495	7,001,889	314,606	4.5
	新松戸駅東側地区 土地区画整理事業	315,081	113,629	201,452	177.3
	相模台地区 土地区画整理事業	514,670	183,847	330,823	179.9
	計	122,230,559	116,881,590	5,348,969	4.6
企業会計	水道事業	2,343,163	2,296,700	46,463	2.0
	病院事業	28,755,202	27,925,407	829,795	3.0
	下水道事業	20,216,047	20,581,473	△ 365,426	△ 1.8
	計	51,314,412	50,803,580	510,832	1.0
合計	342,930,736	341,975,170	955,566	0.3	

1 予算規模

一般会計及び特別・企業会計を含む全会計予算は、

3,429億3,073万6千円 前年度比9億5,556万6千円 0.3%増となりました。

一般会計の予算規模は、

1,693億8,576万5千円 前年度比49億423万5千円 2.8%減となりました。

市民1人当たりの予算額は、340,734円となります。

R4 1,742億9千万円 (市民1人当たり 350,755円)

2 一般会計予算

(1) 歳入

市税については、国の税収においても増額が見込まれていることから、本市においても市税の増を見込んでいるところであり、22億9,600万円、3.3%増、過去最大の722億2千万円を見込みました。

地方消費税交付金については、国の地方財政対策や本市交付実績を勘案し、10億円、9.1%増の120億円を計上しました。

地方交付税については、国の地方財政対策や本市交付実績を勘案し、昨年度と同額の82億5千万円を見込みました。

国庫支出金については、9億円、2.3%減の約383億円を計上しました。減額の主な要因としましては、新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金約5億3千万円の皆減、社会資本整備総合交付金街路事業で約4億6千万円の減、保育所等整備交付金で約2億4千万円の減などによるものです。

県支出金については、5.6億円、4.5%増の約130億円を計上しました。増額の主な要因としましては、障害者自立支援給付費・障害児通所給付費負担金で約3億4千万円の増、公立学校給食無償化支援事業補助金で約1億1千万円の増などによるものです。

寄附金については、ふるさと納税の実績を勘案し、1億円、100%増の2億円を計上しました。

繰入金については、年度間の調整を図るため、財政調整基金から約24億5千万円の繰入及び、競輪事業特別会計からの繰入を3億5千万円を計上しました。

繰越金は、10億円、25%減の30億円を見込みました。

市債については、臨時財政対策債の減10億円、リサイクルセンター建設事業の減約18億円、新拠点ゾーンまちづくり用地取得業務の減約20億円などにより、約59億円、44.1%減の約74億7千万円を計上しました。

【主な歳入予算】

(単位：千円、%)

区 分	令和5年度		令和4年度		増 減 金 額	伸長率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
市 税	72,220,000	42.6	69,924,000	40.1	2,296,000	3.3
地方譲与税	822,621	0.5	822,345	0.5	276	0.0
地方消費税 交 付 金	12,000,000	7.1	11,000,000	6.3	1,000,000	9.1
地方交付税	8,250,000	4.9	8,250,000	4.7	0	0.0
国庫支出金	38,299,934	22.6	39,195,907	22.5	△ 895,973	△ 2.3
県 支 出 金	12,970,167	7.6	12,413,058	7.1	557,109	4.5
繰 入 金	2,893,716	1.7	3,522,371	2.0	△ 628,655	△ 17.8
繰 越 金	3,000,000	1.8	4,000,000	2.3	△ 1,000,000	△ 25.0
市 債	7,472,900 (4,041,300)	4.4 (2.4)	13,364,700 (8,381,800)	7.7 (4.8)	△ 5,891,800 (△4,340,500)	△ 44.1 (△55.2)

※ 市債の()は、借換債、臨時財政対策債を除く。

【市債の状況】

市債発行額（主なもの）

（単位：千円、％）

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	伸長率
道路橋りょう債	661,800	1,050,300	△ 388,500	△ 37.0
都市計画事業債	1,412,000	3,023,700	△ 1,611,700	△ 53.3
臨時財政対策債	2,000,000	3,000,000	△ 1,000,000	△ 33.3
借 換 債	1,431,600	1,982,900	△ 551,300	△ 27.8

(2) 歳 出

人件費は、2.7%、約7億6千万円の減額となっておりますが、職員の定年延長制度の開始により退職手当を減額したことが主な要因です。

物件費は、3.6%、約12億円の増額となっておりますが、庁舎等の光熱水費で約6億円、小中学校給食の物価高騰対策等に伴う経費で約4億円の増が主な要因です。

扶助費は、2.1%、約11億6千万円の増額となっておりますが、障害福祉サービス利用者等の増加により、障害児者介護給付費等支給事業で約13億3千万円の増が主な要因です。

普通建設事業費は、42%、約66億円の減額となっておりますが、新拠点ゾーンまちづくり用地取得業務で約27億円、リサイクルセンター建設事業で約22億円、3・4・18号線街路整備事業（幸谷）で約4億円の減が主な要因です。

積立金は、635.9%、約7億円の増額となっておりますが、職員の定年延長制度の開始により令和6年度に支出予定の退職手当の負担を平準化するため、退職手当基金に積立することが要因です。

【主な歳出予算】

（単位：千円、％）

区 分	令和5年度		令和4年度		増 減 金 額	伸長率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
人 件 費	27,566,014	16.3	28,327,248	16.6	△ 761,234	△ 2.7
物 件 費	33,022,894	19.5	31,863,079	17.3	1,159,815	3.6
扶 助 費	55,515,722	32.7	54,352,941	31.8	1,162,781	2.1
補 助 費 等	15,529,931	9.2	15,364,371	8.8	165,560	1.1
普 通 建 設 事 業 費	9,156,509	5.4	15,773,959	9.5	△ 6,617,450	△ 42.0
補助事業費	3,545,252	2.1	6,120,383	4.3	△ 2,575,131	△ 42.1
単独事業費	5,611,257	3.3	9,653,576	5.2	△ 4,042,319	△ 41.9
繰 出 金	11,036,542	6.5	11,062,711	6.0	△ 26,169	△ 0.2

予算総額に占める目的別歳出予算は、「民生費」がトップ

順位	款	構成比		市民1人当たりの予算額	
1	民生費	52.2%	(49.7%)	176,499円	(174,386円)
2	衛生費	10.5%	(11.4%)	35,382円	(39,971円)
3	教育費	10.2%	(9.2%)	34,391円	(32,247円)
4	土木費	8.3%	(9.9%)	28,218円	(34,772円)
5	公債費	6.9%	(6.6%)	23,190円	(22,757円)
6	総務費	6.7%	(7.1%)	22,770円	(25,004円)

※借換債を除く

※（ ）は、前年度

【主な事業の増減】

① 増額となった主な事業

障害児者介護給付費支給事業	10,428,866千円	→	11,771,279千円	増 1,342,413千円
生活保護法による各種扶助費	17,648,449千円	→	17,692,798千円	増 44,349千円
出産・子育て応援交付金事業	0千円	→	320,832千円	皆増
小中学校給食管理運営事業	3,614,214千円	→	4,024,006千円	増 409,792千円
会計年度任用職員人件費	2,712,921千円	→	2,936,181千円	増 223,260千円
庁舎等の光熱水費	1,648,149千円	→	2,222,615千円	増 574,466千円
退職手当基金積立金	0千円	→	700,000千円	皆増

② 減額となった主な事業

リサイクルセンター建設事業（継続費）	2,173,834千円	→	0千円	皆減
新拠点ゾーンまちづくり用地取得業務	2,722,173千円	→	0千円	皆減
3・4・18号線街路整備業務（幸谷）（継続費）	928,037千円	→	635,306千円	減 292,731千円
選挙費	667,747千円	→	85,912千円	減 581,835千円
一般職・再任用職員人件費	22,310,208千円	→	21,335,586千円	減 974,622千円

3 市債残高の推移

借金である市債残高は、ピークであった平成8年度との比較で、約143億円削減しており、地方交付税の代替財源である臨時財政対策債等を除いての比較では、約593億円削減しています。

近年、普通債の残高が増加していますが、これは、平成21年度から27年度に小・中学校の耐震化事業で約67億円、平成26年度から27年度に東松戸小学校建設事業で約30億円、平成28年度に小・中学校冷房化事業で約21億円、土地開発公社解散に伴う保有土地の買戻しで約44億円を発行したことや、令和2年度から4年度にリサイクルセンター建設事業で約27億円を発行することによるものです。

○ 一般会計予算額と市債残高の推移

(単位：億円、%)

年 度	当初 予算額	市 債								
		残高	増減額	増減率	うち臨時財政対策債等			うち普通債		
					残高	増減額	増減率	残高	増減額	増減率
H8年度	1,047	1,436	51	3.7	184	65	54.6	1,252	△ 14	△ 1.1
H9年度	1,064	1,418	△ 18	△ 1.3	206	22	12.0	1,212	△ 40	△ 3.2
H10年度	1,099	1,413	△ 5	△ 0.4	230	24	11.7	1,183	△ 29	△ 2.4
H11年度	1,086	1,356	△ 57	△ 4.0	231	1	0.4	1,125	△ 58	△ 4.9
H12年度	1,062	1,288	△ 68	△ 5.0	233	2	0.9	1,055	△ 70	△ 6.2
H13年度	1,078	1,248	△ 40	△ 3.1	252	19	8.2	996	△ 59	△ 5.6
H14年度	1,073	1,209	△ 39	△ 3.1	289	37	14.7	920	△ 76	△ 7.6
H15年度	1,081	1,180	△ 29	△ 2.4	346	57	19.7	834	△ 86	△ 9.3
H16年度	1,080	1,151	△ 29	△ 2.5	397	51	14.7	754	△ 80	△ 9.6
H17年度	1,066	1,101	△ 50	△ 4.3	430	33	8.3	671	△ 83	△ 11.0
H18年度	1,089	1,041	△ 60	△ 5.4	453	23	5.3	588	△ 83	△ 12.4
H19年度	1,123	969	△ 72	△ 6.9	460	7	1.5	509	△ 79	△ 13.4
H20年度	1,148	922	△ 47	△ 4.9	462	2	0.4	460	△ 49	△ 9.6
H21年度	1,123	893	△ 29	△ 3.1	479	17	3.7	414	△ 46	△ 10.0
H22年度	1,188	887	△ 6	△ 0.7	515	36	7.5	372	△ 42	△ 10.1
H23年度	1,251	894	7	0.8	546	31	6.0	348	△ 24	△ 6.5
H24年度	1,276	922	28	3.1	574	28	5.1	348	0	0.0
H25年度	1,273	958	36	3.9	600	26	4.5	358	10	2.9
H26年度	1,356	1,004	46	4.8	621	21	3.5	383	25	7.0
H27年度	1,414	1,062	58	5.8	645	24	3.9	417	34	8.9
H28年度	1,522	1,141	79	7.4	656	11	1.7	485	68	16.3
H29年度	1,455	1,178	37	3.2	669	13	2.0	509	24	4.9
H30年度	1,464	1,204	26	2.2	680	11	1.6	524	15	2.9
R元年度	1,552	1,217	13	1.1	681	1	0.1	536	12	2.3
R2年度	1,544	1,213	△ 4	△ 0.3	680	△ 1	△ 0.1	533	△ 3	△ 0.6
R3年度	1,653	1,261	48	4.0	706	26	3.8	555	22	4.1
R4年度	1,723	1,343	82	6.5	671	△ 35	△ 5.0	672	117	21.1
R5年度	1,680	1,293	△ 50	△ 3.7	634	△ 37	△ 5.5	659	△ 13	△ 1.9

※当初予算額は、借換債を除いた実質規模

※市債残高のR3年度までは決算額、R4年度は決算見込

※うち臨時財政対策債等は、市民税減税補てん債、臨時税収補てん債、及び臨時財政対策債

4 行財政改革の推進

行財政の健全化に向けて、平成19年度までを重点期間とした「行財政改革計画」の理念を踏襲し、引き続き、事業全般にわたる見直しや徹底した歳入・歳出の見直しを図っております。

令和5年度当初予算に反映した削減額・増収額の集計総額（一般財源ベース）は、約3億円で、平成15年度～令和5年度までの累計では約 224億円削減しております。

当初予算に反映した削減額・増収額の集計総額（一般財源ベース）

平成15年度	約20億円	平成26年度	約23億円
平成16年度	約29億円	平成27年度	約 1億円
平成17年度	約25億円	平成28年度	約 3億円
平成18年度	約22億円	平成29年度	約 5億円
平成19年度	約24億円	平成30年度	約 3億円
平成20年度	約16億円	平成31年度	約 2億円
平成21年度	約 8億円	令和 2年度	約 2億円
平成22年度	約15億円	令和 3年度	約 5億円
平成23年度	約 8億円	令和 4年度	約 6億円
平成24年度	約 1億円	令和 5年度	約 3億円
平成25年度	約 3億円		

重点期間計 約 120億円

20年度以降 約 104億円

合 計 約 224億円

5 新規・拡大等事業（一般会計）

※事業名及び事業概要の「◎」は新規を、「→」は拡大を表します。

※ページは、参考表のページ

※①～⑥は松戸市総合計画の基本目標の項目

《①子育て・教育・文化を軸とした都市ブランドづくり》

6,338,968 千円

(1) 保育需要への対応

2,288,784 千円

- ① 病児・病後児保育業務 114,077 千円 P. 55
- 〔 病気や病後の子どもを一時的に保育することで、保護者の子育てと就労の両立等を支援する。また、非課税世帯に対して利用料の全額、児童扶養手当受給のひとり親に対して利用料の半額を助成する。 生後57日目～小学校6年生まで 〕
- ② 私立幼稚園預かり保育促進業務 255,012 千円 P. 58
- 〔 待機児童解消に向け、幼稚園の預かり保育を促進するため、幼稚園及び園児の保護者に対し補助及び助成を行うことで費用負担の軽減を図る。 〕
- ③ 民間保育所・認定こども園・地域型保育運営支援業務、市外認定こども園施設型給付費、市外保育所 476,223 千円 P. 63～65、73
- 民間保育所等の保育の質を確保し、運営を支援するため、市独自の加算給付を行う。
- 統合保育加算
- 配慮が必要な児童の受け入れ体制を整えるための支援
- 対象 身体障害者手帳等を取得している児童
- 身体障害者手帳等または通所受給者証及び診断書を取得している児童
- ◎地域型保育運営支援業務に新たに統合保育加算を創設。
- 主食費等徴収免除加算
- 対象児童の副食費及び主食費徴収免除分を支援
- 対象 年収360万円未満相当世帯及び第3子以降（小学3年生以下）
- 年収360万円未満相当世帯及び第2子以降
- ④ 市立保育所関係事業 施設維持管理業務 216,091 千円 P. 72～73
- ◎空き定員等を活用した一時預かり経費 1,500 千円
- 国のモデル事業補助金を活用して、定員に空きのある市立保育所において、未就園児を定期的に預かり、保育所の多機能化に向けた効果を検証する。
- ◎市立保育所木製遊具等購入費 10,000 千円
- 森林環境譲与税を活用し、市立保育所に国産材を使用した木製遊具等を導入する。
- ⑤ 保育士宿舍借上支援業務 114,318 千円 P. 74～75
- 〔 保育士の宿舍を借上げるための費用の一部を補助する。また、新卒2年目までの保育士に家賃の一部を補助する。 〕
- ⑥ 保育施設従事者支援補助金 875,513 千円 P. 75
- 〔 保育現場で働く職員の処遇向上を目的として保育施設に対し人件費の一部を補助する。 〕

- ⑦ 保育士定着支援業務 31,332 千円 P. 75
- 保育士労働環境改善支援補助金 16,968 千円
 - 対象者の拡大 保育士→保育士及び医療的ケア事業に従事する看護師
 - ◎補助金情報配信経費 66 千円
 - LINEを活用して、保育士の個人向け補助金等の周知を図る
- ⑧ 医療的ケア児保育支援事業補助金 57,858 千円 P. 76
- 医療的ケア児及び保護者の地域生活支援の向上を図るため、保育所等での医療的ケア児の受入体制を整備する。
 - ◎施設改修費補助金 2,058 千円
 - 施設の改修整備、備品等の費用を補助する。
- ⑨ けやきの森保育園児の花建設費補助金（継続費） 31,568 千円 P. 76～77
- けやきの森保育園児の花の建替えにかかる建設費の一部を補助する。
 - 総額 315,677 千円 令和4年度 284,109 千円
 - 令和5年度 31,568 千円
- ⑩ 地域型保育施設改修費等補助金 150,000 千円 P. 77
- 小規模保育事業の整備を促進するため、施設の改修整備・増築等の費用の一部を補助する。 10か所整備（開設年度 R5：3か所、R6：7か所）
 - 122か所→129か所
- ⑪ 保育士等確保事業 10,940 千円 P. 77
- 資格取得支援、就職支援貸付、養成修学資金貸付など保育士等に補助する。
- ⑫ 送迎保育業務 230,145 千円 P. 78
- 送迎保育ステーションにおいて、幼稚園への送迎サービスを実施するとともに、一時預かりを実施する。
 - また、新たな送迎保育ステーションを整備する費用の一部を補助する。
 - 送迎保育ステーション 9か所→11か所
 - ◎令和5年度開設 新松戸、東松戸
 - ◎令和6年度開設 松戸駅西口、八柱
- ⑬ 幼児保育管理業務 22,027 千円 P. 79
- ◎交通安全看板（電柱幕）経費 396 千円
 - 駅周辺小規模保育事業所の戸外活動時の安全確保のため、特に交通量が多く、保育施設が集中している箇所へ交通安全看板の設置を行う。

（2）早期支援体制の充実

85,110 千円

- ① マイ・サポート・スペース関係事業 57,156 千円
- 妊婦及び概ね0～2歳児の未就園児がいる家庭への「地域子育て支援拠点」の認知度を高め、拠点とのつながりを作る。また子育ての負担軽減と孤立の解消のため、子育て世帯訪問支援や一時預かりの無料券等を配布する。

子育てコーディネーター業務	81,673 千円	P. 29~30
◎マイ・サポート・スペース事業委託料	2,605 千円	
地域子育て支援拠点業務	192,398 千円	P. 32
◎マイ・サポート・スペース事業関係経費	5,242 千円	
こども館運営業務	22,995 千円	P. 32~33
◎マイ・サポート・スペース事業委託料	154 千円	
一時預かり業務	114,708 千円	P. 54
◎マイ・サポート・スペース事業委託料	200 千円	
◎ 子育て世帯訪問支援業	48,955 千円	P. 57
特に支援を必要とする家庭が周囲から孤立し、虐待リスクが高まることを未然に防ぐために、家事育児の訪問支援を実施する。		
対象 妊婦		
保育サービスを利用していない2歳未満の児童がいる家庭		
その他特に支援が必要な児童がいる家庭		

- ② 子どもの自立支援関係業務（子どもの自立支援プログラム） 1,875 千円 P. 53
- 〔 地域における子どもの見守り体制の強化と子どもの自立を支援するため、子ども食堂等を運営する団体と連携して、食事の提供や学習支援等を実施する。 〕
- ③ 養育支援訪問業務 11,779 千円 P. 55
- 〔 支援が必要でありながら、積極的に自ら支援を求めていくことが困難な状況にある家庭に訪問による支援を行う。 〕
- 対象 就学前・後の児童保護者
- ④ 子どもの貧困対策推進業務 14,728 千円 P. 61~62
- 〔 ◎子ども食堂新規開設・運営支援補助金 13,300 千円 〕
- 子ども食堂の充実及び運営の安定化を図り、適切な支援につなげる機会の拡充を図るため、支援が必要な子どもやその家庭が地域とつながる場を創設することを支援する。
- ・子どもの体験活動支援事業補助金 1,000 千円
- 〔 貧困の状況にある子ども等に対して体験活動を提供する経費を補助する。 〕

(3) さまざまな子育て支援 2,682,954 千円

- ① 一時預かり業務 114,708 千円 P. 54
- 〔 乳幼児の保護者の負担を軽減し、子育てを支援するため、一時預かりを実施する。 〕
- | | | |
|----------|-------|-----------|
| 乳幼児一時預かり | 7 か所 | 61,207 千円 |
| 一般型 | 19 か所 | 48,864 千円 |
| 幼稚園型 | 5 か所 | 4,437 千円 |
- ② 児童短期入所等委託業務 22,958 千円 P. 56
- 〔 児童の保護者が病気・仕事等の理由で児童の養育が困難になった場合、一時的に児童養護施設や里親宅等において養育する。また、市内施設等から児童短期入所等事業 〕

- 実施施設への送迎を行うことで、利便性の向上を図る。
- ③ 幼児同乗用自転車等購入支援業務 24,396 千円 P. 57
- 経済的負担の軽減を図るため子育て世帯に幼児同乗用自転車等の購入費の一部を補助
補助額 購入金額の2分の1（上限5万円）
対象 未就学児2名以上養育する世帯・未就学児1名以上を養育する児童扶養
手当受給世帯
- ④ 子ども医療費助成事業 1,732,778 千円 P. 57～58
- 子どもの入院・通院医療費を助成する。
対象者 本市に住所を有する児童
◎就学等のために市外に転出した児童（保護者は市内在住）
助成方法 現物給付（中学3年生まで）又は償還払い
→現物給付（令和5年8月から高校生相当年齢まで）又は償還払い
自己負担額 入院1日、通院1回につき200円
→児童1人が1つの医療機関につき、月毎に自己負担額の上限を設定
（入院11日、通院6回以降無料）
- ⑤ ◎幼児教育支援業務 108,724 千円 P. 60
- 幼稚園等に通う多子世帯の保護者負担軽減のため、給食費等支援金を支給する。
給食費等支援金 107,940 千円
支給額 第2子 月額 2,500円・第3子以降 月額 5,000円
- ⑥ 待機児童解消緊急特例負担軽減業務 5,964 千円 P. 78
- 認可外保育施設等に通う多子世帯の保護者負担軽減のため、給食費等支援金を支給する。
◎給食費等支援金 2,040 千円
支給額 第2子 月額 2,500円・第3子以降 月額 5,000円
- ⑦ ◎出産・子育て応援交付金事業 320,832 千円 P. 62
- 妊娠届出時より、全ての妊婦・子育て家庭に寄り添い出産・育児等の見通しを立てる
ための必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図るとともに、経済的支援を行う。
・伴走型相談支援関係経 2,745 千円
・出産・子育て応援金 315,000 千円
- ⑧ ひとり親家庭学習支援業務 59,501 千円 P. 67～68
- ひとり親世帯の児童に対し、学習支援及び居場所の提供を行う。
また、学習支援に通う、学習意欲が高く、基礎学力以上の学力取得を目指す生徒に、
学習塾に通う費用の一部を助成する。
- ⑨ ひとり親家庭相談支援業務 3,610 千円 P. 68
- ひとり親家庭等の自立のため、養育費の確保や適切な面会交流の実施に関する
情報提供及び相談指導等の支援や、必要な費用の一部を助成する。
◎離婚前後の親支援講座経費 138 千円
- ⑩ 地域放課後児童支援業務 233,651 千円 P. 70

小学生が安全で安心して健やかに育まれるように子育て支援活動の促進支援を行い、地域の子育て力を育成する。また、放課後児童クラブとの一体型実施を推進する。
長期休業期間中の開設時間 1日実施校 17校→19校

① 中高生支援業務 36,425 千円 P. 71

学校や家庭以外の自由な時間と居場所を提供し体験や交流、相談を行うことで必要な支援につなげる。
中高生の居場所5か所
新松戸地区 週1日開催→週2日開催

② 妊婦健康診査業務 348,307 千円 P. 88

◎妊産婦タクシー利用料補助金 15,818 千円
妊産婦が妊娠36週以降の妊婦健康診査や出産に伴う入退院、産婦健康診査のためにタクシーを利用した場合の費用の一部を補助
補助額 1回につき上限3,000円
補助回数 16回

③ 不妊治療助成事業 18,614 千円 P. 89

◎不妊治療費（先進医療）助成事業 15,056 千円
助成額 先進医療に要した費用の70% 1回につき上限30,000円
助成回数 保険適用の回数に準ずる

(4) 学校教育の推進など 1,128,418 千円

① 事務局関係業務 24,677 千円 P. 143

◎教育広報誌等作成業務委託料 5,500 千円
松戸の教育の魅力を伝えるため、動画・SNS等を活用し教育広報誌等の情報を発信する。

② ネットワーク関係業務 330,579 千円 P. 143

◎1人1台端末修繕管理等業務委託料 91,536 千円
ICTヘルプデスクサポート業務と1人1台端末の修繕や管理等の業務を統合し、一括委託とすることで、業務の効率化と負担軽減を図る。また、修理のために児童生徒が端末を使用できない期間を短縮し、学びをとめない運用を目指す。

③ 各種研修業務 100,160 千円 P. 144

ICT支援員派遣委託料 71,390 千円
GIGAスクール構想における授業の進め方をサポートする、ICT支援員を4名から8名に増員する。

④ 学校教育相談業務 1,551 千円 P. 145~146

スクールソーシャルワーク事業の拠点校を和名ヶ谷中学校に新設し、スクールソーシャルワーカーを3名増員することで、様々な課題を抱える児童生徒及び家庭への相談・支援体制を拡充する。 ※人件費は含まず

⑤	小学校施設整備事業（東部小学校）（継続費）	428,208 千円	P. 150						
	<p>老朽化が著しい屋内体育館の改築工事を実施する。</p> <table border="0"> <tr> <td>総 額</td> <td>480,913 千円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>52,705 千円</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>428,208 千円</td> </tr> </table>			総 額	480,913 千円	令和4年度	52,705 千円	令和5年度	428,208 千円
総 額	480,913 千円								
令和4年度	52,705 千円								
令和5年度	428,208 千円								
⑥	◎小学校施設整備事業（相模台小学校）（継続費）	178,884 千円	P. 150						
	<p>児童数増加に対応するため、校舎及び給食室を増築する。</p> <table border="0"> <tr> <td>総 額</td> <td>920,382 千円</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>178,884 千円</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>741,498 千円</td> </tr> </table>			総 額	920,382 千円	令和5年度	178,884 千円	令和6年度	741,498 千円
総 額	920,382 千円								
令和5年度	178,884 千円								
令和6年度	741,498 千円								
⑦	保健体育学習支援業務	9,559 千円	P. 162						
	<p>◎ 部活動地域連携事業関係経費 695 千円</p> <p>運動部活の地域移行のあり方研究及び、休日の教員の部活動指導の働き方改革に向け、指導者を派遣することで、新たなスポーツ環境の整備を図る。</p>								
⑧	小学校 給食備品等管理業務	1,613,875 千円	P. 164						
	<p>◎ 食材料費の負担軽減経費 217,276 千円</p> <p>物価高騰に伴う食材料費の値上がり分を市が負担する。</p> <p>◎ 学校給食費一部無償化経費 6,319 千円</p> <p>子どもが多い世帯の経済的負担軽減を図るため、給食費の一部無償化（第2子半額・第3子以降全額）を実施する。</p>								
⑨	中学校 給食備品等管理業務	887,906 千円	P. 165						
	<p>◎ 食材料費の負担軽減経費 90,041 千円</p> <p>物価高騰に伴う食材料費の値上がり分を市が負担する。</p> <p>◎ 学校給食費一部無償化経費 3,104 千円</p> <p>子どもが多い世帯の経済的負担軽減を図るため、給食費の一部無償化（第2子半額・第3子以降全額）を実施する。</p> <p>給食回数増加経費 33,625 千円</p> <p>中学校の給食回数を165回から172回に7回増加する。</p>								
⑩	医療的ケア推進事業	2,662 千円	P. 147						
	<p>◎ 看護師アドバイザー協力者謝礼金 289 千円</p> <p>指導的な立場の看護師アドバイザーを新たに派遣する。</p>								

（5）文化・観光・芸術の創造 153,702 千円

①	姉妹都市等交流推進業務	25,949 千円	P. 22～23
	<p>◎ ホワイトホースWeek関係経費 3,000 千円</p> <p>姉妹都市オーストラリア・ホワイトホース市との交流を広く市民に周知するため啓発イベント等を実施する。</p>		

・ ドミニカ共和国 梨の交流事業経費	19,500 千円	
〔 ドミニカ共和国への梨の専門家の派遣・研修員の受入れを通じて技術指導を行い、農業貢献を通じて、松戸市と松戸梨のブランド力の向上を図る。〕		
◎ ベトナム交流関係経費	1,000 千円	
〔 外交樹立50周年を祝い、市内在住者の多いベトナムとの国際交流を推進するイベント等を実施する。〕		
・ ホストタウン交流関係経費	757 千円	
〔 東京オリンピック・パラリンピック大会で築いたホストタウン交流を継続する。〕		
② 文化の香りのする街構築事業	67,133 千円	P. 23
科学と芸術の丘負担金	35,000 千円	
〔 戸定が丘を中心とした、科学、芸術、自然が一体的となったフェスティバル。市制施行80周年及び県誕生150周年を記念し、会場・期間等を拡大する。〕		
パラダイスエア委託費	20,233 千円	
〔 国内外の芸術家を松戸に招待し、住民との交流を通して、松戸でしか出来ない作品の制作を行う。〕		
文化イベント負担金	4,000 千円	
〔 ポップカルチャーイベント、街中謎解きイベントを開催する協議会への負担金〕		
暮らしの芸術都市創造負担金	7,500 千円	
〔 コスプレ盆踊り、ストリートカルチャーイベント等を開催する協議会への負担金〕		
JOBANアートライン協議会負担金	400 千円	
〔 常磐線沿線4区4市、東京芸大、JR東日本で構成する協議会にて、沿線同時開催のイベント、忘れ物傘のワークショップ等を開催する負担金〕		
③ 社会教育推進関係業務	10,134 千円	P. 154
音楽フェスティバル負担金	9,000 千円	
〔 「音楽のまち 松戸」に向けた取り組みとして、市民参加を主体とした音楽フェスティバルを開催する。〕		
④ 文化財保護事業 啓発普及業務	3,570 千円	P. 156
〔 ◎ 市制施行80周年記念旧町役場案内板作製設置委託料 495 千円 旧松戸町役場のかつての所在地付近に案内板を設置する。〕		
⑤ 青少年会館 施設整備業務	30,000 千円	P. 157
〔 ◎ 3×3バスケットコート設置工事費 30,000 千円 青少年会館の敷地を活用し、3×3バスケットコートを整備する。〕		
⑥ 戸定歴史館 企画展開催業務	2,298 千円	P. 158
〔 ◎ 「徳川公爵家のバックヤードー最後の家令が見た半世紀」 開催期間 令和5年10月7日～令和6年1月8日 市制施行80周年冠事業〕		

最後の家令である古澤秀彌氏が見た近代徳川家のバックヤードを、最新研究をふまえて紹介する。

- | | | |
|--|-------------|------------|
| ⑦ 博物館 企画・資料展示業務 | 13,241 千円 | P. 159~160 |
| ◎ 「写真で見る松戸の150年」 | 11,019 千円 | |
| 開催期間 令和5年9月23日~11月12日 | 市制施行80周年冠事業 | |
| 写真を中心に、文書・道具類・模型など様々な資料を用いて、明治から現代に至る市域の歴史や人々の生活の変化をたどることで、“郷土”についての思いを馳せる機会を提供する。 | | |
| ⑧ その他体育施設管理運営事業 | 60,861 千円 | P. 167 |
| ◎ スケートボード場新設に伴う設計委託料 | 2,500 千円 | |
| 新たなスケートボード場の建設を検討する設計委託を実施する。 | | |
| ⑨ ◎スポーツ施設改修整備計画事業 | 7,000 千円 | P. 167 |
| スポーツ施設整備調査業務委託料 | 7,000 千円 | |
| 施設整備に関する現状分析、整備の検討など今後の計画作成のための調査を行う。 | | |

《②誰もがいきいきと暮らせるまちづくり》

237,934 千円

(1) 地域共生社会の推進

64,003 千円

- | | | |
|---|--------------|----------|
| ① 重層的支援体制整備事業 | 1,373,895 千円 | P. 29~34 |
| こども館運營業務 | 22,995 千円 | |
| 乳幼児から小中高生世代までの安心・安全な子どもの居場所づくりを促進する。 | | |
| 森のこども館開催 33回→44回 | | |
| 多世代まるごと居場所づくり業務 | 10,680 千円 | |
| 多世代が集える居場所「まつどDEつながるステーション」を創出し、世代や属性を超えた関わりを通じて、地域の中での孤立を防止する。 | | |
| 共助の基盤づくり業務 | 1,443 千円 | |
| 地域住民相互の支え合いによる共助の取組の活性化と地域コミュニティの創造を推進する。 | | |
| ◎女性のためのつながりサポート業務 | 579 千円 | |
| 生きづらさや困難を抱える女性が必要な支援につながれるように、市と関係機関の情報共有と居場所事業を実施する。 | | |
| ② グリーンスローモビリティ地域推進事業 | 49,571 千円 | P. 34 |
| グリーンスローモビリティ等の電動カートを利用した移動手段を地域に導入することで、高齢者等の社会参加の促進を図る。 | | |
| ・車両購入費 | 24,577 千円 | |
| 車両数3台→6台（地域導入車両2台→5台、実証調査車両1台） | | |
| ◎実証用小型車両賃借料 | 1,000 千円 | |

- | | | | |
|---|--|-----------|-------|
| ③ | コミュニケーション支援業務 | 8,651 千円 | P. 46 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ◎ 親子向け手話講習会 子ども向け手話普及を目的として、夏休み期間中に主に小中学生を対象とした講習会を開催する。 | 21 千円 | |
| ④ | 障害者就労支援業務 | 11,925 千円 | P. 47 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ◎ プロボノを活用した就労支援事業委託料 障害者就労施設事業所と専門的スキル・経験をボランティアで提供する「プロボノワーカー」をマッチングし、事業所の課題解決及び工賃向上を図る。 | 600 千円 | |
| ⑤ | こども発達センター管理運営事業 外来療育業務 | 32,044 千円 | P. 69 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ◎ 車椅子・補装具等貸与事業経費 障害児・者支援施設の事業者等に、車椅子・補装具等の貸与を行うことにより、療育またはリハビリテーションの資質向上を支援する。 | 276 千円 | |

(2) 健康の維持・増進 17,161 千円

- | | | | |
|---|---|------------|-------|
| ① | 保健衛生総務関係事業 | 34,644 千円 | P. 80 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 健康診査共通受診券作成委託料 共通受診券発送対象者 『過去2年以内に1種類以上、市の検診を受診した者』→『過去3年以内』 にすることにより、検診受診率の向上を図る。 | 10,156 千円 | |
| ② | 新型インフルエンザ等対策業務 | 230,794 千円 | P. 80 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ◎ 新型コロナ後遺症（罹患後症状）対策関係経費 後遺症診療の専門家を講師に招き、後遺症の治療方法等について、医療従事者を対象に講演会を開催する。 | 583 千円 | |
| ③ | ◎若年がん患者支援事業 | 721 千円 | P. 81 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 若年がん患者在宅療養支援補助金 40歳未満のがん末期患者に対し、在宅での療養に必要な居宅サービスを利用した場合の費用の一部を補助する。 | 721 千円 | |
| ④ | 成人歯科健康診査業務 | 22,888 千円 | P. 84 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ◎在宅要介護者の訪問歯科健康診査 通院が困難な在宅要介護者に対し、訪問による歯科健康診査を実施する。 対象者 75歳以上で要介護認定（要介護3～5）を受けている者 | 3,101 千円 | |
| ⑤ | 自殺対策事業 | 4,193 千円 | P. 91 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ◎ 次期自殺対策計画策定支援業務委託料 | 2,600 千円 | |

(3) 障害者施策の充実 26,232 千円

- | | | | |
|---|--|-----------|-------|
| ① | 医療的ケア児等の家族に対するレスパイトケア事業補助金 | 10,500 千円 | P. 40 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 家族のレスパイトを目的に、医療的ケア児等を受け入れる福祉型短期入所施設に | | |

- 対して、経費の一部を補助する。
- ② 重症心身障害児通所支援事業所開所延長支援補助金 8,832 千円 P. 41
 家族のレスパイトや就労支援等を目的に、開所時間を延長して、重症心身障害児を受け入れる児童発達支援事業所等に対して、経費の一部を補助する。
- ③ 放課後等デイサービス開所延長支援補助金 6,900 千円 P. 41
 障害児が長期休暇中も放課後等デイサービスを一日中受けられるように、開所時間を延長するための経費の一部を補助する。
- ④ 社会参加支援等業務 150,449 千円 P. 47
 ◎ 医療的ケア体制加算 1,832 千円
 日中一時支援の事業所が、医療的ケアに従事する看護師を配置した場合に費用の一部を支援する。

(4) 高齢者施策の充実 130,538 千円

- ① 生活支援体制整備業務 94,775 千円 P. 31
 地域における高齢者の生活支援・介護予防の体制整備を図るため、生活支援コーディネーターを配置し多様な機関との連携を推進する。
 生活支援コーディネーターを3名設置
 →生活支援コーディネーター、就労的活動支援、認知症地域支援推進の視点を持った総合的なコーディネーターを15地域に設置
- ② 介護人材確保事業 22,549 千円 P. 52
 要介護者の増加等に伴う介護人材の不足に対応するため、介護従事者を確保するための施策を展開する。
- ③ フレイル予防一体的推進業務 13,214 千円 P. 52~53
 高齢者がフレイル（加齢による心身虚弱）に陥ることを予防するため、医療専門職が保健指導や家庭訪問等を行う。
 保健指導の範囲拡大
 骨折二次予防→骨折二次予防及び糖尿病性腎症重症化予防

《③居心地の良い魅力的なまちづくり》 ※特別会計含む 2,306,472 千円

(1) 都市の整備 364,022 千円

※新松戸駅東側地区・相模台地区土地区画整理事業特別会計含む 1,084,241 千円

- ① ◎水辺の施設維持管理業務 47,293 千円 P. 126
 ◎ 坂川散策路整備詳細設計 9,000 千円
 松戸駅周辺の賑わい創出及び住環境の改善を図るため、坂川沿いに周辺環境と調和した散策路の整備を行う。

- | | | |
|--|------------|------------|
| ② 景観形成推進業務 | 12,161 千円 | P. 127 |
| ◎ 松戸駅周辺公共サイン整備計画策定委託料 | 7,000 千円 | |
| 松戸駅周辺における利用者の利便性向上及び来訪者等の回遊性向上を図るため、景観特性を踏まえた公共サインの設置を検討する。 | | |
| ◎ 景観計画改定に向けた調査・検討委託料 | 5,000 千円 | |
| 「松戸市景観計画」の改定に向けた調査を行うとともに、令和4年度より検討を開始した松戸駅周辺地区の景観誘導基準の運用を位置づけるための検討を行う。 | | |
| ③ 市街地整備関係業務 | 23,852 千円 | P. 127~128 |
| ◎ 常盤平地域まちづくり検討委託料 | 13,871 千円 | |
| 常盤平地域における特性を考慮しつつ、具体的なまちの再生方針を検討する。 | | |
| ◎ 北小金駅周辺都市再生整備計画策定委託料 | 8,481 千円 | |
| 駅周辺地区の賑わいを創出し、魅力あるまちづくりを推進するため、都市再生整備計画の策定を目指す。 | | |
| ④ まちづくり基本構想推進業務 | 286,183 千円 | P. 128~129 |
| ◎ 主2-68(岩瀬)道路改良に伴う造成及び擁壁設計委託料 | 10,000 千円 | |
| ◎ 国道6号交差点改良に伴う詳細設計委託料及び用地購入費他 | 276,183 千円 | |
| 新拠点ゾーン整備基本計画に基づく道路事業である、主2-68号、国道6号交差点改良の詳細設計及び用地買収等を行う。 | | |
| ⑤ 自転車駐車場整備業務 | 139,285 千円 | P. 130 |
| ◎ (仮称)新松戸駅東口第1自転車駐車場整備設計等委託料 | 11,487 千円 | |
| 新松戸駅東側地区土地区画整理事業の施行に伴い、既存施設の代替となる自走式立体自転車駐車場を整備する。 | | |
| ⑥ 土地区画整理関係業務 | 28,596 千円 | P. 131 |
| ◎ 常磐線快速列車新松戸駅停車調査委託料 | 23,000 千円 | |

(2) みどりと環境の整備 575,675 千円

- | | | |
|---|------------|--------|
| ① 地域公園整備業務 | 347,480 千円 | P. 133 |
| ◎ 地域公園再整備計画策定委託料(栄町第1公園・六実中央公園) | 42,180 千円 | |
| ◎ 地域公園再整備工事(新松戸中央公園・柿ノ木台公園) | 290,000 千円 | |
| 開園後40年以上経過し、老朽化が進んでいる地域公園の再整備を行う。 | | |
| 令和5年度は、栄町第1公園及び六実中央公園において、ワークショップ及び実施設計等を行い、新松戸中央公園及び柿ノ木台公園において、遊具の更新等の工事を行う。 | | |
| ② 21世紀の森と広場施設整備業務 | 223,499 千円 | P. 134 |
| ◎ 水とこかげの広場舗装修繕設計・工事 | 122,000 千円 | |
| ◎ つどいの広場南口トイレ改築工事 | 49,995 千円 | |
| ◎ 放流塔デッキ改修工事 | 49,500 千円 | |

〔 公園利用者の安全及び快適な環境の確保のため、施設の長寿命化対策工事を行う。 〕

③ 21世紀の森と広場維持管理業務 315,353 千円 P. 134

〔 ◎ 公衆無線LAN環境整備関係経費 12,000 千円
公園利用者の利便性向上を図るため、公衆無線LAN環境の整備を行う。
◎ 二十世紀梨保存プロジェクト経費 10,000 千円
松戸市で「二十世紀梨」を復活させるため、公園内に親木の植樹を行う。 〕

(3) 道路・交通の整備 646,556 千円

① 都市計画道路新設整備事業 1,138,581 千円 P. 131~132

〔 ◎ 3・3・7号線街路整備業務（紙敷） 11,250 千円
地域高規格道路である北千葉道路の開通と併せ市内の骨格的幹線道路として決定されている横須賀紙敷線の整備を行う。
3・4・18号線街路整備事業（幸谷）（継続費）
総 額 1,795,076 千円
令和2年度 0 千円
令和3年度 231,733 千円
令和4年度 928,037 千円
令和5年度 635,306 千円 〕

《④地域経済が活力にあふれ、自分らしく働けるまちづくり》 243,102 千円

(1) 産業の振興 129,214 千円

① 中小企業相談室業務 25,773 千円 P. 113

〔 松戸ビジネスサポートセンター業務委託料 22,739 千円
中小企業者の経営課題に対応し、販路開拓や新商品開発など事業者による売上向上に向けた取り組みへの伴走支援を行う。 〕

② 中小企業活性化支援業務 18,731 千円 P. 113

〔 中小企業デジタル化チャレンジ補助金 上限額500千円 10,000 千円
新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業者のデジタル化に要する経費の一部を補助する。 〕

③ インキュベーション施設運営業務 30,927 千円 P. 114

〔 松戸スタートアップオフィス運営経費 29,827 千円
◎ 防音ブース購入費 1,100 千円
ウェブ会議や電話に適した、防音ブースを設置する。 〕

④ 事業者緊急支障利子補給等業務 20,000 千円 P. 114

〔 新型コロナウイルス感染症対応特別資金及びセーフティネット資金を借り入れた市内中小企業者に対して、支払利子を補助する。
新型コロナウイルス感染症対策利子補給金 〕

補助対象融資上限額	10,000千円
利子補給率	融資利率と同等
利子補給期間	3年以内

⑤ 企業誘致事業 80,548 千円 P. 118~119

サテライトオフィス等立地促進補助金	45,000 千円
<ul style="list-style-type: none"> 単独の企業が利用する単独型を新設し、シェア型の補助率を拡大する。 ◎ サテライトオフィス（単独型） 補助率 1/2 サテライトオフィス（シェア型） 補助率 1/2→2/3 	
産業用地創出に係る調査関係経費	548 千円
産業用地創出に向け、立地可能性について企業へニーズ調査を行う。	

(2) 賑わいの創出 80,888 千円

① にぎわい創出事業 15,328 千円 P. 117

中心市街地活性化エリアマネジメントにぎわい創出事業委託料	13,088 千円
市内の観光資源や文化施設等の公共空間を活用したイベント等を実施する。	
イベント開催数 年6回→年7回（松戸にぎわいフェスタ）	

② 松戸花火大会負担金 67,800 千円 P. 120

市制施行80周年及び県誕生150周年を記念し、県内最大級の花火打ち上げ数の増加やステージイベントの実施等、規模を拡大する花火大会に交付する。	
--	--

(3) 付加価値の高い都市農業の推進 30,000 千円

① 農業経営基盤強化事業 151,731 千円 P. 108

◎ 農業経営支援業務	30,000 千円
農業用資材等を補助することにより、農業経営の安定及び発展を図る。	

(4) 多様なワークスタイルの実現 3,000 千円

① 雇用促進事業 44,737 千円 P. 104~105

◎ 合同企業説明会出展支援補助金	3,000 千円
市内の事業者に対して、民間主催の合同企業説明会等への出展料を補助する。	

《⑤安全で安心して暮らせるまちづくり》 249,836 千円

(1) 防災拠点の整備 87,301 千円

① ◎新庁舎管理事業 32,838 千円 P. 11~12

災害拠点となる市役所の再編整備に向け、検討委員会の運営や調査検討を行う。	
・ 庁舎整備検討委員会委員報酬 12人	714 千円
・ 新庁舎整備業務 ◎庁舎機能課題検証業務委託料	32,000 千円

	◎窓口利用状況等調査業務委託料 (債務負担行為)	0 千円
②	災害医療対策関係事業	7,164 千円 P. 80~81
	◎ 病院前・学校救護所用消耗品費他	2,044 千円
③	救急車両整備事業	99,000 千円 P. 140
	◎ 高規格救急自動車新規購入	33,000 千円
	救急出場件数の増加に対応するため、新たに中央消防署に救急車を1台配置する。	
④	防災拠点整備業務	36,211 千円 P. 141~142
	◎ 業務継続計画に伴う職員用災害備蓄品及び非常用発電機購入経費	5,657 千円
	業務継続計画に基づき、職員用災害備蓄品や災害対策本部用のカセットガス式 発電機を備蓄する。	
	◎ 防災拠点倉庫LED無停電照明設置修繕料	1,100 千円
	物資の集配拠点となる運動公園の防災拠点倉庫にLED無停電照明を設置する。	
⑤	通信体制整備業務	81,116 千円 P. 142
	◎ 災害時防災情報テレフォン・FAXサービスシステム経費	1,504 千円
	避難情報や避難所開設情報等を固定・携帯電話やFAXに自動架電すること により、情報リテラシーの乏しい市民にも災害情報を伝達する。	
	◎ 千葉県防災行政無線再整備負担金	11,282 千円

(2) 防犯対策 162,535 千円

①	安全・快適まちづくり推進業務	24,914 千円 P. 15
	◎ 客引き行為等対策業務委託料	22,526 千円
	松戸駅周辺において、客引き行為対策を強化。	
②	市民生活安全対策業務	74,314 千円 P. 16
	・ 防犯カメラ設置・維持管理経費	73,819 千円
	通学路等を中心に20台増台。	
③	安全管理業務	11,190 千円 P. 164
	児童の日常生活及び登下校時の安全・安心を確保する。	
	◎ GPS端末購入費初期費用補助経費	9,771 千円
	希望者にGPS端末購入の初期費用を補助する。	
	新入学児童用防犯ブザー購入費	1,419 千円
④	市内公園緑地管理事業改良業務	526,238 千円 P. 132
	市内公園維持管理委託料	55,000 千円
	年間を通して公園の内外からの見通しを良くするため、年2回程度実施している 公園の草刈りをさらに2回分多く実施する。	

(1) 機動的な行財政運営 16,089 千円

- ① 組織・機構整備事業 13,132 千円 P. 11
 - ◎ 全庁業務量調査委託料 13,000 千円

これからの社会や市民ニーズへの対応に向けて、市役所業務の現況を把握するため、全庁的な業務量調査を実施する。
- ② ◎市制施行80周年記念事業 3,089 千円 P. 24

市民の皆様が80周年記念行事を様々展開できるように、市制施行80周年を広くお知らせし、市民企画行事の応援等を行う。

(2) 自治体DXの推進 131,290 千円

- ① デジタル化推進事業 119,844 千円 P. 14
 - ・ 自治体情報システム標準化・共通化等委託料 90,085 千円

住記・税・年金などの住民情報を全自治体標準のシステムに統一化対応するための機能分析や全体管理を行う。
 - ・ テレワーク環境関係経費 14,844 千円

外部から情報系パソコンにアクセスできる環境を整備し、新型コロナウイルス感染症や、子育て、介護など様々な働き方に対応する。
 - ・ オンライン申請システム関係経費 6,923 千円

マイナンバーカードを利用しない各種申請手続きについても、オンライン化を進めバーチャル市役所の実現を目指す。
 - ◎ 市民スマホ活用講座委託料 3,200 千円

地域に身近な公共施設等において、スマホによるオンライン申請等の活用方法を知ってもらう講座を開催する。
 - ◎ オンライン相談サービス使用料等 1,114 千円

市民のパソコンやスマホからウェブサイトを通じ、市役所担当課とオンラインで直接相談を行えるシステムの活用実証実験を行う。
- ② 図書館管理運営事業 294,817 千円 P. 154~156
 - 情報化推進業務
 - ◎ 図書等 I C タグ関連機器関係経費 15,124 千円

(◎新松戸分館、◎馬橋分館、◎馬橋東分館、本館、東松戸地域館、小金分館)
3分館に新たに自動図書貸出機等を導入し、貸出事務の効率化を図る。

(3) SDGsへの取組 98,915 千円

- ① ◎地方創生SDGs推進事業 14,413 千円 P. 14
- 〔 Z世代の活躍推進とSDGsの達成に向けた取組を原動力とした地方創生を
産学官民連携のもと、総合的かつ効果的に推進する。 〕
- ② 平和事業 5,101 千円 P. 21~22
- 〔 ・ 平和大使長崎派遣経費 3,662 千円
〔 市内中学生を平和大使として、長崎市で開催される「青少年ピースフォー
ラム」へ派遣する。 〕
・ 小中学生平和語り部経費 75 千円
〔 小中学校において、戦争体験者等による講話を行う。 〕
・ 平和の集い・ピースセッション開催経費 745 千円
〔 平和の尊さを考えるイベント等を開催する。 〕 〕
- ③ 人権関係事業 5,156 千円 P. 23
- 〔 「人権が尊重されすべての人が安心して暮らせるまち」の実現のため、講演会を
開催するとともに、相談支援体制の整備及び人権関係機関との連携を図る。
・ 人権啓発推進事業 600 千円
・ 人権被害者相談事業 1,427 千円
・ 人権施策推進事業 3,129 千円 〕
- ④ 清掃施設整備事業 74,864 千円 P. 102
- 〔 リサイクルセンター整備業務 2,000 千円
〔 ◎松戸市リサイクルセンター建設工事に伴う損失補償金 〕
◎新焼却施設環境影響評価等委託業務 72,732 千円
〔 新焼却施設の整備に向けて、環境影響評価や各種調査を実施する。
(債務負担行為) 期 間 令和4年度~令和8年度
限度額 239,668 千円 〕
◎新焼却施設整備業務 132 千円
〔 新焼却施設処理方式検討会関係経費 〕 〕

(4) 地球温暖化対策 45,819 千円

- ① 家庭対策業務 28,304 千円 P. 97~98
- 〔 省エネルギー住宅等普及促進
ライフサイクルカーボンマイナス住宅 補助件数 1件→5件
◎集合住宅LED照明改修促進
温室効果ガス削減のため、集合住宅共有部照明のLED化を推進する。 〕
- ② 事業所対策業務 6,394 千円 P. 98
- 〔 事業用省エネルギー設備等導入促進
『まつど脱炭素社会推進事業所登録制度』に登録した事業所には補助金額を1割 〕

上乘せする。

ネット・ゼロ・エネルギー・ビル 補助上限額 1,000千円→1,100千円

設備診断改修 補助上限額 400千円→440千円

③ 運輸対策業務 4,236 千円 P. 98

クリーンエネルギー自動車導入促進

電気自動車購入補助金（市単独補助金）

補助対象 自家用のみ→自家用、事業用

④ 低炭素型地域創出推進業務 6,885 千円 P. 98～99

◎ 脱炭素市民会議開催関係経費

6,885 千円

松戸市地球温暖化対策実行計画で掲げる温室効果ガス削減目標を達成するため、

市民や学生が主体となる市民会議を開催する。

《新型コロナウイルス感染症対策》

2,531,455 千円

① 新型インフルエンザ等対策業務 230,794 千円 P. 80

市民PCR検査や抗原検査キット購入費等の助成

225,507 千円

② 新型コロナウイルスワクチン予防接種業務 2,305,948 千円 P. 96

対象者となる市民の9割が年に1回接種できる体制の整備を行う。